

はしがき

この本は、英語のリスニング能力を効果的に高めるために編集されたものです。英語のリスニング力の養成には、ある程度たくさんの量を継続的に聞くことはもちろん大切ですが、ただやみくもに英語を「聞く」だけでは、リスニング能力を高めることはできません。英語を「聴く」には聴くための「タクティクス（方略）」が必要となります。この本は、多種多様な練習問題をすることによって、自然にリスニングのタクティクスが身につくように工夫されています。

各章は、場面と言語機能とに基づいて、バランスよくさまざま表現を聞きとる練習ができるように配慮いたしました。また、単純な聞きとり作業だけではなく、さまざまな作業を行なうことによって、なるだけ能動的にリスニング力がつくようにも工夫しました。

練習問題は、さまざまな現実的な状況を設定して、日常レベルの会話を題材にして作成していますので、これらの練習問題で用いられる表現は、みなさんが実際に英語を使う場面において役立つことでしょう。

また、各章には、聞きとりの音声的なポイントが提示されています。日本語話者が英語を聞きとる際に困難なポイントを選びました。個々の音の聞きとりについてはとくに難しいものだけにしぼり、音の連続や音の変化など実際の場面で用いられるときの英語の音声に重点をおきました。

この本によって、みなさんがリスニングタクティクスを身につけられ、“tactic listener”になれることを願っています。最後に、金星堂のみなさんには、この本の完成までの各段階においてたいへんお世話になりました。ここに記して、感謝の気持ちを表したいと思います。

2007年8月

山内 信幸
北林 利治

CONTENTS

UNIT 1	Instructions	7
	指示にしたがって	
UNIT 2	Directions	11
	地図を頭に思い浮かべて	
UNIT 3	Descriptions	15
	形や様子の表現に注意して	
UNIT 4	Processes	19
	手順を示すキーワードに留意して	
UNIT 5	Opinions	23
	自分の意見ははっきりと	
UNIT 6	Messages	27
	メッセージの伝達は正確に	
UNIT 7	Functions	31
	場面を限定する役割の表現は？	
UNIT 8	Purchasing	35
	買い物の際の決まり文句は？	
UNIT 9	Touring	39
	旅程では地名と数字のチェックを忘れずに	
UNIT 10	Checking-in & Reserving	43
	ホテルの宿泊に関する表現は？	
UNIT 11	Ordering	47
	注文は必要事項を簡潔に	
UNIT 12	Mailing & Banking	51
	郵便局や銀行での決まった表現は？	
UNIT 13	Job Hunting	55
	労働条件の確認を忘れずに	
UNIT 14	Checking-in & Boarding	59
	出入国のやりとりはあわてずに	
UNIT 15	Information-Gathering	63
	情報収集には「5W1H」に注意して	

Instructions

指示にしたがって

さまざまな指示をしたり、受けたりするときの表現を聞きとりましょう。指示されたことがわからない場合には、ひとつずつ確認しながら、指示された行動をとっていきことも大切です。指示の順序をしっかりと聞きとるように、つなぎことばにも注意しましょう。

Warming Up

- Where are you living?
- Where are you leaving?
- I am full with the food from the party.

CD-2

- 1** Yoshie は、英語学校の申込書の記入を、coordinator の Donna さんに助けてもらっています。CD を聞いて、申込書に必要な事項を記入しなさい。



APPLICATION FORM

Last Name _____ First Name _____

Mailing Address

_____ Sakura-cho, Minato-ku, Kobe Country _____

Postal Code _____

Telephone _____

Sex Male Female

Date of Birth Day _____ Month _____ Year _____

2 さきの CD をもう一度聞いて、次の空所に適語を入れなさい。

< D=Donna, Y=Yoshie >

- D: Would you please (¹) out this application form?
 Y: Yes. Could you (²) me with (³) ?
 D: Sure. Please write your name on the (⁴) line. Your last name and your first name.
 Y: OK. My (⁵) name is Shimamura, and my first name is Yoshie.
 D: And write your (⁶) on the second line, please.
 Y: OK. 13-42 Sakura-cho, Minato-ku, Kobe City.
 D: Then write "Japan" in the (⁷) after the city.
 Y: Japan.
 D: And (⁸) code.
 Y: It's 650-3271.
 D: Then write your phone number.
 Y: It's 078-521-8593.
 D: Good. You're (⁹) , so put a check in the box on the right.
 Y: OK.
 D: And write your (¹⁰) of (¹¹).
 Y: December sixth, 1990.
 D: OK. Perfect.

指示の表現としては、命令文を使うのが簡単ですが、そのほかにも“Could you . . . ?”や“Would you mind . . . ?”などの疑問文を使って丁寧に指示する方法などがあるでしょう。指示が聞きとれない場合、“Sorry. I didn't catch that. Could you say it again?”や“Excuse me, but could you repeat what you've just said?”などと言えばよいでしょう。また、指示されたことがわからず、やり方を教えてほしい場合には、上の会話例にあるように、“Could you help me with . . . ?”などと言えばよいでしょう。

3 CD を聞いて、指示にしたがって、記入しなさい。

1. _____

2.

--

--

3.

--

--

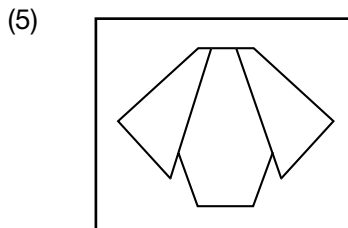
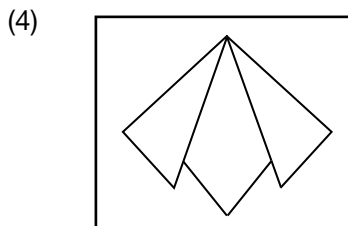
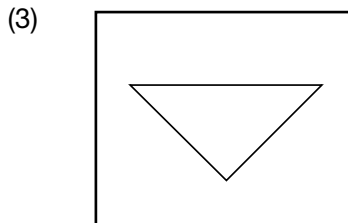
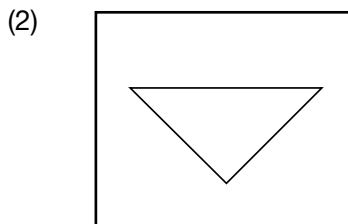
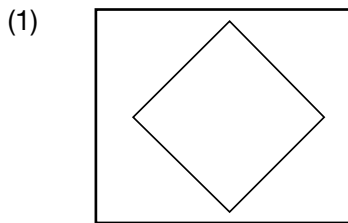
4.

--	--	--	--

5.

--	--	--	--

- 4 折り紙の作り方が説明されています。CDを聞いて、どんな形ができるかを考え、それぞれのイラストを完成しなさい。



英語の長母音と短母音の違いについては、音の長さの違いというよりは、質的に異なる母音であるということを知ることが大切です。たとえば、[i:]は、唇をはっきりと横に広げて、舌を緊張させて発音します。これに対して、[i]は、舌の緊張がなく、日本語の「イ」と「エ」の間のような音がします。[u:]と[u]にも同様の違いがあります。[u:]は、唇を丸めて前に突き出して発音します。これに対して、[u]は、唇の突き出し方や緊張が緩んで、「オ」に近い音になります。